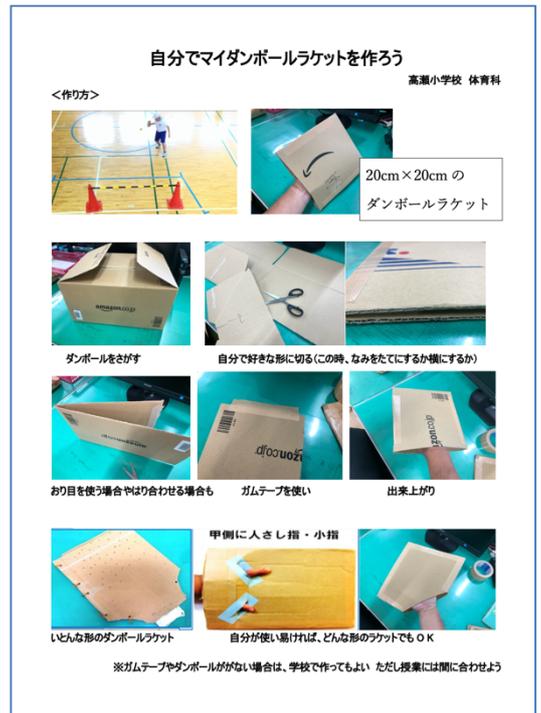


マイラケットのダンボールテニスと走高跳び ～with コロナの体育授業も CREATIVE に～

日田市立高瀬小学校 岩崎 敬

一学期は組み合わせ単元で、宝とり鬼と走幅跳び、体づくり運動とリズムダンスの体育授業を行いました。いずれも、もしコロナの影響で再度休校になったとしても、子どもたちが自分で運動遊びができるようにとの思いで、手軽にできる運動を紹介を兼ねてのカリキュラムの変更です。

二学期もその考えの延長として、ボール運動はダンボールテニス、陸上運動はゴム跳びのイメージ走高跳びを組み合わせ実践しています。今まで岩崎がダンボールテニスを行う際は岩崎でダンボールラケットを40枚程度作成し、それを回して使っていました。しかし今年はそのようなことができないため、作り方のプリントを配布し、各自でマイラケットを作ってもらいました。すると、大きなラケット、小さなラケット、丸いラケット、角を丸めたラケット、柔らかいラケットなど個性的なラケットが集まりました。



オリジナル マイラケットの一部



コートも子どもたちが密にならず、一人ひとりにプレイが確保できるように、ミニコートを作りました。1コートが卓球台ぐらいの大きさですが、1人残さず楽しそうにダンボールテニスに興じてくれます。



<コート12面に要した用具>

- ・ カラーコーン 24本
- ・ コーンバー 12本
- ・ スポンジボール 20球
(最少12球)
- ・ ライントープ 1巻 (50m)
※一部既存のラインを使用



最初は力加減が分からず、ラリーを続けるのがやっとでしたが、どの学年も徐々に「続ける」から「ラリーを切る」に学習課題が変わってきています。6年生の中にはボールをカットして得点する子も出てきました。



左上の写真は戦前のバレーボールという外国生まれのスポーツを普及させていた頃の授業の様子。右の写真はTEQVOLYといい、卓球とバレーボールを組み合わせた感じの新しいスポーツの様子。

これからの体育は、自分たちでスポーツや運動を創るという方向も含みながら、CREATIVE な子どもの育成に力を入れたいと考えています。

もう一方の走り高跳び。こちらも子どもたちが密にならず、一人ひとりに運動が確保できるよう8跳場作りしました。

いずれも準備が大変と思われがちですが、走高跳びからダンボールテニス、ダンボールテニスから走高跳びへと種目が変わる時の片付けと準備時間は速いチームは1分以内。遅いチームでも3分かかりません。8月28日に単元3



時間目の授業を視察に来られた東京学芸大学准教授の佐藤善人先生からも、片付けと準備の時間が速いとお褒めの言葉を戴きました。最近ではさらに磨きが掛かり、この時の動きは担任の先生といつも感心しています。



走高跳びの片付け



テニスコートの準備

次の運動がしたいから準備が早いのか原因は分かりませんが、私は毎時間使う学習カードに一人ひとりの役割分担と設置場所を混乱がないように記入しています。態度の中の「責任」の項目も、こちらとしては指導も評価もやりやすくなっているためここ数年このスタイルを続けています。

ダンボールテニス・高とび 学習カード⑥

9月 4日(金曜日) 4年1組 名前()

★今日のめあて

相手コートはどこをどうねらえばよいか見つけよう(技能)

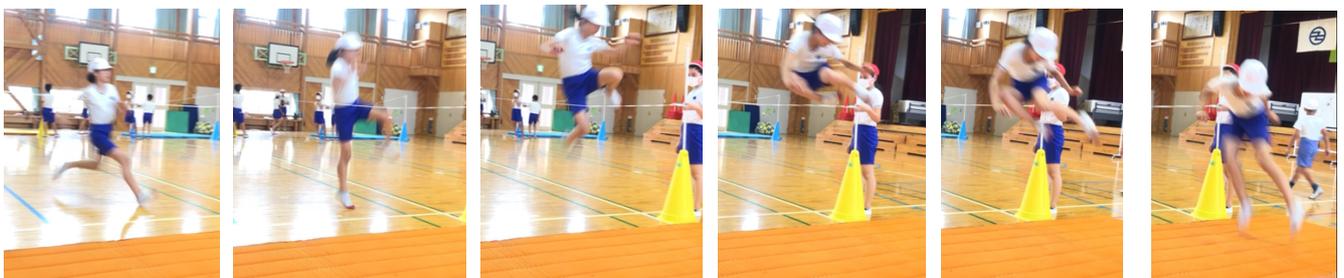
★グルーピングとコート

走高跳び	テニス	1 スマイル	2 MARVEL	3 マイゼン	4 はばたけ	走高跳び	テニス	5 とべたけ	6 最強ジャンプ	7 バイナッパル	8 海賊
キャプテン: ゴム	ボール					キャプテン: ゴム	ボール				
守番: コーン・ボール	パー					守番: コーン・ボール	パー				
道具: マット	コーン					道具: マット	コーン				
道具: マット	コーン					道具: マット	コーン				
1ビット	青マット青コーン	2ビット	青マット青コーン	3ビット	オレンジ黄黄コーン	4ビット	オレンジ黄黄コーン	5ビット	赤マット赤コーン	6ビット	赤マット青コーン
1コート	1コート	2コート	2コート	3コート	3コート	4コート	4コート	5コート	5コート	6コート	7, 9コート
											8, 10コート

★相手のどこをねらう? (ぬりつぶす)

このような授業の中で、個性的な跳び方でよく跳ぶ6年生を発見しました。踏み切った後に両膝を畳んで胸に鋭く引きつけるため、空中で体がさらに浮き上がる跳び方です。こちらにも勉強になります。

メキシコオリンピックでフォスベリー（米）が背面跳びを見せ世界中が驚かせたように、体育授業の中でも子どもたち自身に見つけさせる部分と、こちらから教えていく部分を共存させながら、ワクワク、ドキドキ感ある授業を探究していこうと思っています。



with コロナの授業も、子どもたちと一緒に CREATIVE に